

週間市場レポート (2021年11月29日~12月3日)

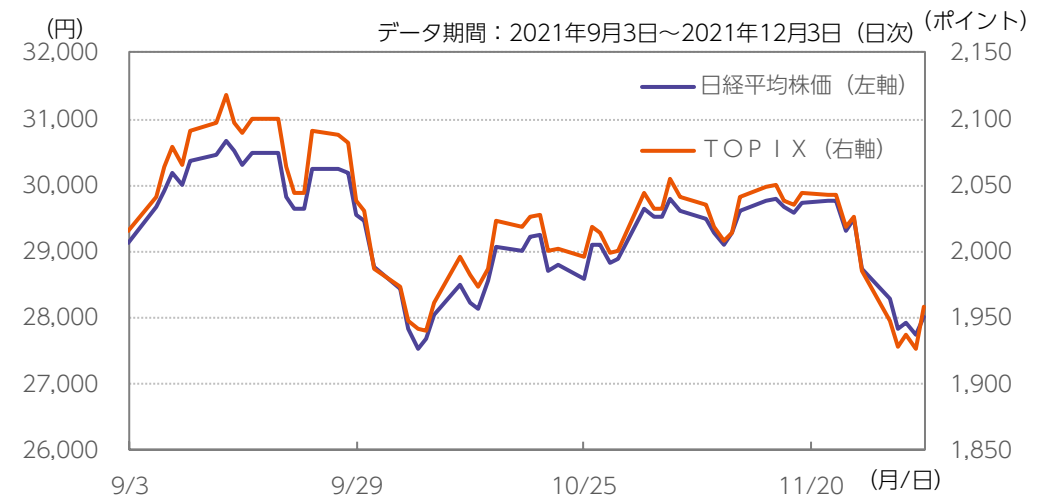
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/11/26	先週末 2021/12/3	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,751.62	28,029.57	▲ 2.51 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,984.98	1,957.86	▲ 1.37 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,899.34	34,580.08	▲ 0.91 ↓
S & P500種指数		4,594.62	4,538.43	▲ 1.22 ↓
ナスダック総合指数		15,491.66	15,085.47	▲ 2.62 ↓
ユーロ・ストックス50指数		4,089.58	4,080.15	▲ 0.23 ↓
S & P/ASX300指数		7,291.50	7,244.60	▲ 0.64 ↓
上海総合指数		3,564.09	3,607.43	1.22 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)*		970.51	963.37	▲ 0.74 ↓
東証REIT指数		2,069.18	2,024.27	▲ 2.17 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		907.96	906.69	▲ 0.14 ↓
ASX300 REIT 指数		1,702.80	1,673.20	▲ 1.74 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		215.72	214.29	▲ 0.66 ↓
日本10年国債 (%)		0.074	0.053	▲ 0.021 ↓
米国10年国債 (%)		1.473	1.343	▲ 0.130 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.335	▲ 0.388	▲ 0.053 ↓
英国10年国債 (%)		0.825	0.747	▲ 0.078 ↓
ドル/円		113.38	112.80	▲ 0.51 ↓
ユーロ/円		128.35	127.64	▲ 0.55 ↓
英ポンド/円		151.23	149.25	▲ 1.31 ↓
豪ドル/円		80.76	78.95	▲ 2.24 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,757.13	3,804.54	1.26 ↑
WTI原油先物 (ドル)		68.15	66.26	▲ 2.77 ↓
CRB指数		226.73	220.64	▲ 2.68 ↓

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。南アフリカなどで見つかった新型コロナウイルスの新たな変異型であるオミクロン株による感染拡大をめぐる警戒などから、前週末から11月30日（火）まで3日続落しました。その後は、3日間で1,500円超下げたため、主力銘柄を中心に自律反発狙いの買いが入り、小幅に上昇する場面もあったものの、オミクロン株による世界的な感染拡大への懸念は根強く、売りが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

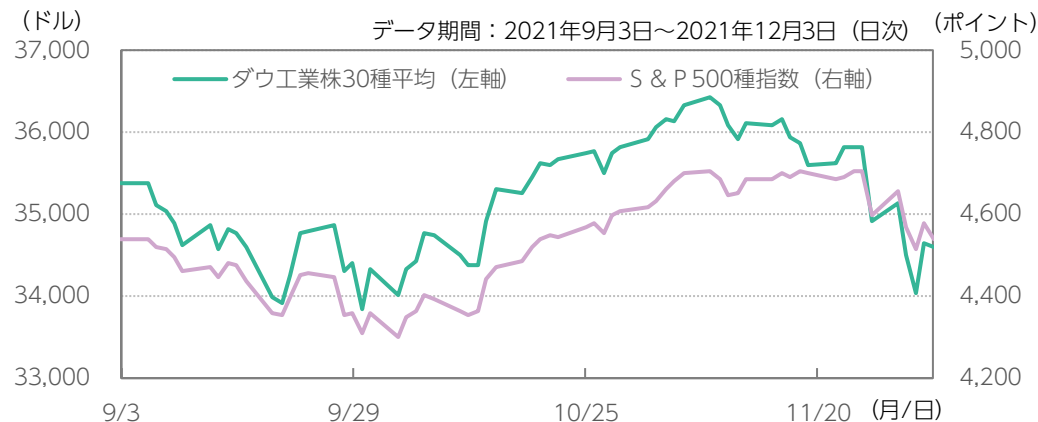
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下しました。新型コロナウイルスの新たな変異型による感染拡大で、経済活動が停滞するとの懸念から相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。その後、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言を受け米金融政策の正常化が想定より早まるとの見方が強まると、売りが優勢となったものの（利回りは上昇）、週間では前週末比で低下しました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

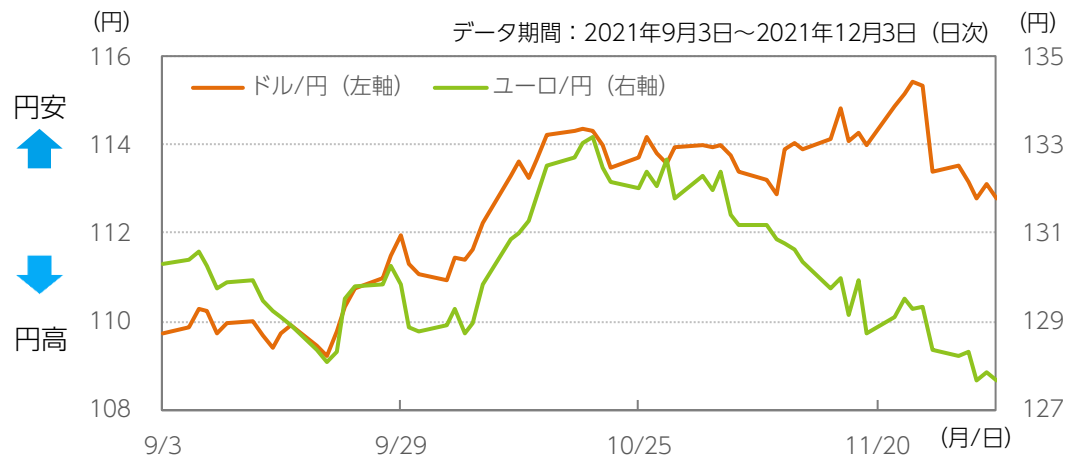
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に下落となりました。オミクロン株の感染防止策をめぐり、バイデン米大統領が都市封鎖を否定し、週初は小幅に上昇したものの、パウエルFRB議長の議会証言を受けた金利上昇懸念から幅広い銘柄が売られました。その後は、米国内でオミクロン株による感染者が確認されたことや、既存ワクチンの有効性に関する報道、11月の雇用統計の結果を受け、週末まで一進一退となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。オミクロン株のまん延で、世界経済の回復が遅れるとの懸念から、リスク回避目的の円買い米ドル売りが進みました。パウエルFRB議長の議会証言を受け、米金融政策の正常化が早まるとの見方から、日米金利差を意識した円売り米ドル買いがやや進む場面もあったものの、週間では円高米ドル安となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、新型コロナウイルスの変異型であるオミクロン株の感染拡大による世界景気の回復遅れへの懸念から、日米両市場ともに下落しました。

オミクロン株による感染が拡大しています。南アフリカでは、感染者が発見されてから約1週間で感染者数は5倍となり、先週には日本国内やアジア諸国、米国においても感染者が確認されました。オミクロン株の感染力の詳細やワクチンの効果などが明らかとなるには数週間を要するとみられ、当面の間、先行き不透明感は残りそうです。先週末に公表された11月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に下回るも、失業率は前月より改善し、2020年2月来の低水準となったことから、市場では、FRBが早ければ次回の米連邦公開市場委員会（FOMC）で、テーパリング（量的緩和縮小）の加速を決定するとの見方が強まっています。

今週の株式市場は、投資家のリスク回避姿勢の強まりから、積極的な買いが控えられる中、オミクロン株による感染者数の動向とワクチンや治療薬などに関する報道により上下に振れやすく、方向感の定まりにくい展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>